自ら Plug-in! 新たな学び を Charge! 教職員の学びを子どもの学びと相似形に

教育センターだより

令和７年４月１８日発行
北九州市立教育センター
ＴＥＬ　６４１－１７７５
ＦＡＸ　６４１－１８３３
【ホームページ】
https://www.kita9.ed.jp/eductr/
【Ｅメール】
admin@eductr.kita9.ed.jp

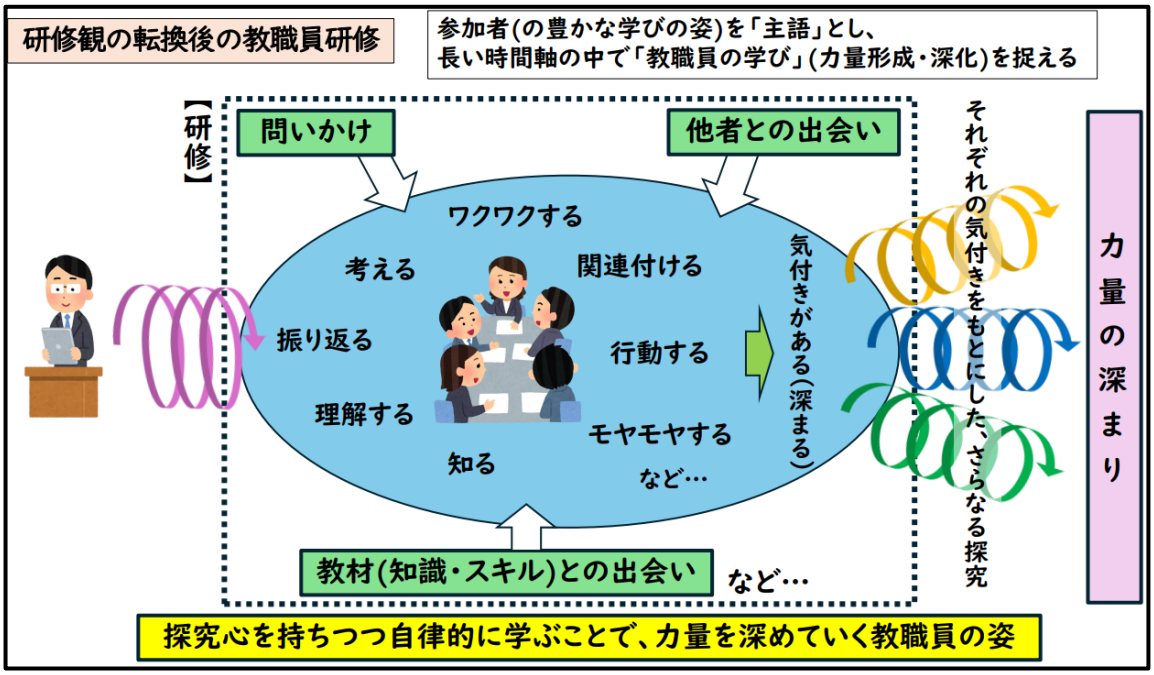
教育センター研修が変わります！　～研修観の転換～

今回は令和７年度の研修コンセプトのポイントのうち２点目に当たる、「新たな学びを Charge！」について特集します。

実施方法等の改善（＝「研修観の転換」）を図ります！

従来の研修は、知識やスキルが提供され、受講者はその正確な理解を求められていました。知識を得ること、理解することによって、教師の力量の向上を目指すというものです。

しかし、これからの研修は、受講者の学びを豊かなものにできるか、より深めることができるかという視点を重視していきます。研修では、問いかけや他者との出会い、教材（知識・スキル）との出会いを提供し、受講者一人一人の気付きをもとに探究が行われることを目指します。研修での学びによって、受講者が学校に戻った後の実践が変わり、その実践において生まれた新たな課題意識をもって再び研修を受講する、理論と実践の往還を目指して、研修の実施方法を改善します。



令和７年度研修からの具体的な変更点

○　**研修開始時(イントロダクション)の個々の目標設定で、主体性を向上**
→　個々の目標を設定する時間を確保し、課題意識をもった主体的な受講を促します。

○　**研修終末時の受講者相互の対話による振り返り(リフレクション)で、学びを学校現場での実践へ**
→　受講者同士の対話だけでなく、自己内対話も適切に取り入れ、学びを学校現場での実践につなぎます。

※　**研修効果が十分に期待できないことから、代替研修を廃止**
→　対話やグループワーク等、オンデマンドで代替できない活動が研修の中心となるため、**令和７年度から代替研修を廃止**します。計画的に受講してください。欠席する場合は、Plant の「各種申請フォーム」で管理職より申請をお願いいたします。